

議会の活動

- 7月** 1日 各派代表者会議
4・5日 総務委員会行政視察
16日 議員意見交換会
各派代表者会議
18日 静岡県市議会議員研修会
29～31日 福祉教育委員会行政視察
30日 東部地区6市4町議会議長連絡会
- 8月** 2日 議会報告会運営会議
議員研修会
各派代表者会議
7～9日 経済建設委員会行政視察
13日 議会運営委員会
15日 平和都市推進事業街頭啓発事業
21日 議会運営委員会
22日 議員説明会
28日 議会報告会運営会議
29日 各派代表者会議
議会運営委員会
- 9月** 5日～10月1日 9月定例会
5日 各派代表者会議
議会運営委員会
本会議（議案審議）
予算決算特別委員会
議会だより編集委員会
9・10日 経済建設分科会（決算審査）
11・12日 福祉教育分科会（決算審査）
13・17日 総務分科会（決算審査）
20・24・25・26・27日 本会議（一般質問）
24日 各派代表者会議
議会運営委員会
27日 予算決算特別委員会
30日 議会だより編集委員会
- 10月** 1日 各派代表者会議
本会議（議案審議）

11月定例会のお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
24	25	26	27	28	29	30
		本会議 (議案審議)				
12/1	2	3	4	5	6	7
			本会議 (一般質問)			
8	9	10	11	12	13	14
	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問 予備日)		本会議 (議案審議)		

本会議は午後1時に開会する予定です。
日程は変更になる場合があります。

議会だより
編集委員会

委員長：河野 月江
副委員長：村田 耕一
委員：沈 久美、高田 康子、宮下 知朗、
本間 雄次郎、永田 裕二

視察報告



三島市が抱えるさまざまな課題を調査するため、委員会で先進地を訪問し、視察研修を行いました。

経済建設委員会 8/7～9

金沢市中心街地都市機能向上計画に基づいた街づくりについて -石川県金沢市-

中心市街地をエリア分けし、エリアごとに歩行空間である「にぎわいコアストリート」と、そこを繋ぐ「にぎわいアクセスロード」を位置づける独自の手法が効果的である。通りごとに役割を明確化したことにより、土地利用にメリハリができ、駐車場の移転再配置などに繋がり、結果的にあらゆる世代の歩行者が安心して歩ける街なみが生まれている。また、計画の実現に向け、住民との話し合いや合意形成を大切にしながら、丁寧に進めてきた歴史が伺える。

学びの森官民連携型賑わい創出事業について -岐阜県各務原市-

学びの森は大正時代に開設された岐阜高等農林学校から承継されてきた樹木や地形を生かした、広大な公園である。学校や鉄道駅などがある周辺エリアと一体的に都市基盤整備が進められた結果、通学や憩いの風景などの賑わいが生まれることとなり、公園を「緑の中の賑わいのある新しいまちの顔」とするべく、Park-PFI制度を活用した賑わい創出事業に取り組むこととなった。

コンセプトである「常設のマーケット日和」を実現し、新たな賑わい拠点とするため、全天候型屋内遊戯施設や飲食店、特定公園施設としてトイレや木もれ日デッキなどの整備を提案した各務原学びの森コンソーシアムの「KAKAMIGAHARA PARK BRIDGE」が選定された。



地域再生計画作成による総理大臣認定と財政支援について -岐阜県郡上市-

郡上市では、滞在型観光の充実、合理的な農業生産体制の確立による農業所得向上、林業の進行と木材地域再生の3つを目標とし、みんなでつくるまちづくり計画を行っている。地域再生のために行う事業として、道路網ネットワーク整備に力を入れており、観光施設に繋がる市道の新設や路線改良、主要幹線を結ぶ広域農道の開設、森林資源活用のための林道開設などを行っている。自然の地形を生かした城下町や、湧水を使った水利施設が一体となり、素晴らしい城下町となっている。

先進地に学ぶ

福祉教育委員会 7/29～31

エイジフレンドリーシティの取組について -秋田県秋田市-

平成21年から事業に取り組み、5年毎に行動計画を見直す中、現在は第3次行動計画が実行されている。有識者等による行動計画推進委員会や庁内推進会議などの推進体制を構築し、「高齢者コインバス事業」による高齢者の外出支援や、様々なイベント等を開催する「エイジフレンドリーシティの日」の設定、民間事業者が提案した「エイジフレンドリーパートナーづくり推進事業」など、数多くの事業を実施している。

エイジフレンドリーシティの実現には、市民への周知と市民や企業、大学等の協力及び意識改革が必要と感じた。市民協働の事業をPDCAサイクルにより検証し、計画の質の向上を図っている点は参考にしたい。



ヤングケアラーピアサポート事業について -宮城県仙台市-

ヤングケアラーの早期発見・支援につなげるため、相談窓口の設置や、当事者の支援にあたるピアサポート体制の構築、当事者同士が悩みや情報を共有できるオンラインサロンを実施している。

小・中・高校に対しモデル的な学校内サロンの働きかけも行っており、高校ではヤングケアラー診断サイトを作成するなど、効果的な取り組みに繋がっている。



SDGs 推進全世代健康都市圏事業について -福島県郡山市-

福島県立医科大学との共同研究により、全世代の健康情報等のデータを分析し、効率的な保健事業を実施に向けた健康ポータルサイト「ココカラこおりやま」を開設するなど、健康格差の縮小や健康寿命の延伸を目指している。

総務委員会 7/4・5

新庁舎の整備について -埼玉県八潮市-

市民の安全・安心を最優先に確保するため、公共施設マネジメントアクションプランを策定し、新庁舎と、庁舎別館、庁舎東側棟、保健センターを集約することとなった。また、市民文化会館・勤労福祉センターを集約した八潮メセナ、中央公園および新庁舎をサークル上に園路で繋ぎ、市民の活動スペースとして憩いの場の形成を図っている。台風等の浸水被害に備えるため、新庁舎の1階は水害への対応を考慮した構造とし、非常用発電機や免震装置の設置、ZEB Readyに対応した自然エネルギーの活用などを行なっている。

子ども関係の部署、保健センター、自立支援を行う福祉部署とハローワークとの併設などの複合施設を集約することによる市民の利便性向上を図っている。また、市民が集うサークル広場、栄養指導室、キッズスペース、多目的広場など、市の職員だけでなく市民も利用できる市役所など、随所に工夫が施されており参考になった。



新庁舎の整備について -千葉県袖ヶ浦市-

令和4年に北庁舎・整備等の建設工事、令和5年に中庁舎の耐震補強及び大規模改修工事、令和6年2月から最終段階となる南庁舎の建設工事を行っている。新築部分と耐震補強をして使用する部分があり、同一敷地内の既存施設等を継続的に利用しながら庁舎を整備し、建設後は一体的に利用することとした。工事については効率的かつ安定的に業務を遂行する業者を選定するため、設計・施工一括発注（デザインビルド）方式とした。

